

単元名	年 組 番	2問
二年 物語・小説 (登場人物の気持ちを読み取る)	氏 名	

◇次の文章を読んで、後の問に答えましょう。

小学校5年生の時、私は、姉とけんかをして、姉の大事にしていたペンシルを捨てた。けんかをした理由は、姉が教えてくれていたバドミントンに対して真剣味が足りないとか、私の心構えが足りないとかいうことであつたと思う。しかし、姉が一方的に攻撃してくるような気がしてしまった。私の、反発がたまつてしまい、筆箱からペンシルを持ち出し、捨ててしまった。

姉がどんなに大切にしていた物だとわかっていても、姉に対する反発から衝動的にしてしまった。捨てた後は、姉の困った顔が思い出され、せいせいした。これで、姉が落ち込んでしまうと思うと心が（ ）として来るのだった。

しかし、その後が大変だった。いい気持になつたのはその時だけで、大変なことをしてしまったという、後悔の念がおこつて来た。

1 ————— 線部「ペンシルを捨てた」直後の「私」の気持ちを、文章中から書き抜きましょう。

(せいせいした)

2 () に当てはまる言葉として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

(ウ)

- ア いらいら
- イ 冷え冷え
- ウ 晴れ晴れ

単元名	年 組 番	2問
二年 物語・小説 (登場人物の気持ちを読み取る)	氏 名	

◇次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

「そんなやり方では、カブシないよ」

壮太は夕日を背に立っている相手を見た。影が、スカートをはいているのに驚いた。仁王立ちしている態度でスカートをはいていなければ、年上の男の子にしか見えない。同じ学校では見かけない顔だ。

「何か、僕に用なのか？」

壮太は驚かされたことにいら立って、(ア) 言った。

「だから、そんなやり方では、カブしてゴールに入って行かないって言ってるんだ」
相手も怒ったように言い返した。

壮太はたじろいだ。しかし、相手が自分と年がそう変わらない少女だということに気が付いて、

「ほっとけ」と怒鳴り返した。

1 (ア) に当てはまる言葉を、次から一つ選び記号で答えなさい。

ウ

ア おずおずと イ うきうきと ウ ぶっきらぼうに エ 穏やかに

2 「たじろいだ」とありますが、このときの壮太の気持ちを説明した次の文の□に入る言葉を文章中から六字で書き抜きなさい。

相手に

怒ったように

返事をされて、おじけづいている。